

受験番号	
------	--

氏名	
----	--



2025年度 東京未来大学入学者選抜試験
一般選抜【筆記試験型】 D日程(3月12日実施)

国語



【注意事項】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験時間は1科目60分です。
- 3 原則として、途中退出は認められません。試験中に気分が悪くなった人や、トイレに行きたくなった人は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、シャープペンシル又は鉛筆で記入してください。
- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 7 「やめ」の合図があったら速やかに筆記用具を机の上に置いてください。
- 8 試験終了後、問題冊子、答案用紙はすべて回収します。
- 9 その他、必ず監督者の指示に従ってください。

I 現代文 一般選抜【筆記試験型】 D日程(3月12日実施)

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

巨額の費用と多大な労力をかけていったん敷いた線路を、後で剥がして(I)にすることなど当初は考えていなかったとしても、実際にはさまざまな事情によってそうせざるを得なくなった路線が、鉄道創業以来、日本全国で姿を消していった。

廃線の直接の原因は個々の路線により千差万別だが、時代の流れに沿って多数の廃線例を眺めていくと、(A)廃線に至る背景事情には、類型化できるパターンがいくつかある。

過疎化とマイカーの普及による旅客の減少は、利用者自身が路線の採算性低下を実感しやすく、時代を超えて共通する廃線の普遍的な根拠としてわかりやすい。ただ、昭和30年代以降の中小私鉄の廃線例や昭和40年代の赤字83線以降の廃線例、及びその議論の推移を見ると、中小私鉄の経営悪化は旅客収入の減少よりも、トラック輸送への切り替えや鉱山の産出量の低下、それに国鉄の貨物輸送の縮小によって接続する私鉄の貨物列車が運行できなくなってしまったことなど、貨物収入の減少に大きな影響を受けているケースが少なくない。

長距離の大量輸送を得意とする鉄道は、本質的に旅客よりも貨物の輸送量が収支に大きく影響する。北海道新幹線の建設に伴う並行在来線問題がクローズアップされたことで、貨物輸送の盛衰が路線の存廃に大きな影響を及ぼすことが、久々に問題意識として顕在化した。国鉄末期に鉄道離れを起こした日本の貨物輸送は、(①)三十余年を経て、環境負荷の少なさや、長距離トラックのドライバー不足問題に対する解決策として、再び鉄道への注目度が増している。それが広域鉄道ネットワークの存在を前提としていることに(A)カンガみれば、貨物輸送が鉄道路線の存廃に一定の影響力を持つ点もまた、時代を超えて変わっていないと言えよう。

問題意識の根幹は同じでも、実質的な意味が時代によって変化している点もある。戦時中の強制休線や戦災による事実上の強制廃線を例外として、鉄道路線の営業をストップする場合には、(B)その路線を利用する沿線住民の意向に十分配慮すべきとされるのは、今も昔も変わらない。(②)、路線の存廃に大きな影響力を持つ「沿線住民」の意味に、昭和時代と平成・令和以降とで若干のずれが生じている。

赤字83線や国鉄再建法による特定地方交通線の時代は、対象路線を身近な存在とする沿線住民で構成されやすい市町村レベルの地方自治体の動きが目立った。だが、近年の赤字ローカル線の存廃の議論において、実質的に大きな影響力を持つ地方自治体は、市町村レ

ベルよりも総じて財政力が強く、対象路線に対する支援や負担の大きな部分を担う都道府県であることが多い。そのような^(c)都道府県の判断次第で路線の存廃が左右されるのが、率直な実態でもある。

国鉄の分割・民営化によって、地方の鉄道路線を国全体で支える構造が弱くなれば、その次に支えられる財政力を持つのは都道府県しかない。平成以降にその存在感が大きくなったのは、国鉄の民営化による必然的な帰結である。

ただ、都道府県のような広域行政単位になると、対象路線の存廃が自身の生活圏の中で生じる事象ではない住民の数も多くなる。そうになると、自分に無関係な地域の赤字ローカル線を都道府県の税収人で支えることに異論を持つ住民が一定数いてもおかしくないから、必ずしも地域内の路線を存続させることが優先されることにはならない。只見線は「全線復旧は共同幻想」との批判があっても福島県が恒常的な財政負担を決断したが、それに比べると、北海道は近年のＪＲ北海道の赤字路線の支援には総じてドライなスタンスを貫いている。

鉄道路線の存廃を客観的に判断する際には、その路線ならではのさまざまな事情を個別に、かつ丁寧に汲み取りつつも、利用実態を示す数値を用いた基準がどうしても必要になる。その基準となる数値に、今でも、国鉄再建法で設定された特定地方交通線の選定基準が用いられがちだ。鉄道運営の合理化や近代化はこの40年間で進んでいるはずだが、現在の鉄道運営のあり方に照らしても、当時の設定数値には相当に高い合理性、客観性があるとみなされていることになる。

数値の指標以外にも、ＪＲ各社には発足時に国鉄から引き継いだ路線について、将来の期限を区切ることなく、原則として適切な維持に努めるべきことが求められている。国鉄分割・民営化当初からＪＲ各社は「旅客鉄道株式会社及び日本貨物鉄道株式会社に関する法律」、通称ＪＲ会社法によって規律されてきた。本州のＪＲ旅客3社とＪＲ九州の計4社は株式の上場によって同法の適用対象から外れたが、国土交通大臣が定めたＪＲ会社法に基づく指針は、国鉄改革実施後の輸送需要の動向等を踏まえて、現に営業する路線の適切な維持に努めることをＪＲ各社に求めている。

つまり、ＪＲ各社は国鉄改革の際に特定地方交通線を永続的に引き継がなかっただけでなく、多額の国鉄債務を国民負担としたり、国鉄職員を国や地方公共団体が受け入れたりしてその負担を軽減された。その一方で、駅周辺の固定資産などを承継するなど経営基盤の強化が可能な立場に置かれた。こうした経緯を踏まえれば、ＪＲ発足当時に引き継いだ赤字ローカル線は、自社内の新幹線や都市部の路線による収益等で内部的に支えるというのがＪＲ発足当初に想定された仕組みであり、株式上場の有無にかかわらずＪＲ各社はこの仕組みによって路線を維持すべき、というのが^(d)大臣指針の意味するところである。

この指針が生きている以上、ＪＲ各社は、整備新幹線の並行在来線問題のように別次元からの要請によって自社からの経営切り離しが認められない限り、国鉄時代の特定地方交通線として選定されなかったローカル線は、輸送人員や赤字額の多寡のみを基準としてそ

う簡単に廃線にしてはいけない、ということになる。「民間会社だから個々の路線の収益を気にするのは自然なこと」「乗客が少ない地方の路線の赤字を別の地域の黒字路線の収益で^(イ)ホテンするのはいかなものか」といった主張が、近年のJRの赤字ローカル線問題で必ずしも地元自治体の理解を得られないのは、^(ウ)③事情にもよる。

鉄道を廃棄するという作業は、陸上のインフラを^(ウ)Ⅱ的にしか持たないバス路線や航空路線、船舶の航路の^(ウ)テツタイに比べて、はるかに大きな社会的影響をもたらす。そして、いったん廃線になって線路を剥がせば、後で事情の変化があっても、再び同じ区間に線路を敷いて列車を走らせることはほぼ不可能である。その意味では、どのような経緯で建設されたにせよ、既存の鉄道路線を廃止して物理的に消滅させることは、できれば避けるのが望ましい。

(小牟田哲彦『日本鉄道廃線史』中央公論新社より 一部改変)

□ 文章中の(ア)・(イ)・(ウ)のカタカナを漢字に直しなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

ア カンガみれば イ ホテン ウ テツタイ

□ 文章中の①・②・③に入る最も適切な言葉を、それぞれについて、次から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア こうした イ たとえば ウ たしかに エ もし オ まるで
カ それから キ つまり ク だが ケ もちろん

□ 文章中の(Ⅰ)・(Ⅱ)に入る最も適切な言葉の組み合わせとして正しいものを、次から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア (Ⅰ)道路 (Ⅱ)一般
イ (Ⅰ)廃線 (Ⅱ)限定
ウ (Ⅰ)廃止 (Ⅱ)横断
エ (Ⅰ)私鉄 (Ⅱ)部分

□ 文章中のA「廃線に至る背景事情」について、次の段落(「過疎化と」から始まる段落)で二つ説明されている。その二つを、それぞれ一〇字以内で抜き出しなさい。

〔五〕 文章中のB「その路線を利用する沿線住民の意向」は、平成・令和以降にはどのように変わったかについて、平成・令和以降の「沿線住民」の特徴を示したうえで、対象路線の存廃に対してどのような影響が表れているか、七〇字以上九〇字以内にまとめて書きなさい。ただし、句読点も一字とする。

〔六〕 筆者が文章中で述べている内容と合致しないものを次から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア JR各社は、路線の赤字が多額であることを理由にして、簡単に廃線にすることはできない。
- イ 鉄道路線の存廃を判断する際には、その路線のさまざまな事情や地域性を十分に考慮する必要がある。
- ウ JR各社は民営化に際し、それ以前の国鉄債務を全額負担したが、その一方で駅周辺の固定資産などを承継した。
- エ 鉄道創業以来、個々の路線に関するさまざまな理由によって、実際に廃線になった路線は少なくない。
- オ 鉄道路線を廃線にする際の客観的な判断基準として、国鉄再建法で設定された特定地方交通線の選定基準が用いられることがある。

〔七〕 文章中のC「都道府県の判断」によって存続した鉄道路線の例に挙げられている路線名を、文章中から探して、漢字で答えなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

〔八〕 文章中のD「大臣指針」とあるが、ここに示されている大臣の正式名称を文章中から探して、漢字で答えなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

Ⅱ 言語事項・文学史 一般選抜【筆記試験型】 D日程（3月12日実施）

一 次の①～⑤の傍線部の漢字の読み方を、ひらがなで答えなさい。なお、ひらがなは丁寧書きなさい。

- ① 交通ルールを遵守する。
- ② ただのカゼだと侮るのはやめた方がいい。
- ③ 人の給与を詐取してはいけない。
- ④ あの二人の角逐はいつも激しい。
- ⑤ それは専門家に委嘱するのが望ましい。

二 次の①～⑤の空欄には、それぞれ同じ漢字が入る。上に示した意味になるようにあてはまる漢字一文字を書き入れなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

- ① 世の中の経験を積んで悪賢くなった人。 「海（ ）山（ ）」
- ② 一生に一度だけの機会と思い、大切にふるまえと説く茶道の心得のこと。 「（ ）期（ ）会」
- ③ 事の善悪に関わらず、他人の言う通りになること。 「唯唯（ ）（ ）」
- ④ 一方に偏らず中立を守ること。 「（ ）偏（ ）党」
- ⑤ 中身のない現実味のない理論のこと。 「（ ）理（ ）論」

三 次の①～③の問いに答えなさい。

①次のア～カから、島崎藤村の作品を二つ選んで、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|------|---|-----|---|------|
| ア | 破戒 | イ | 武蔵野 | ウ | 田舎教師 |
| エ | 阿部一族 | オ | 金閣寺 | カ | 夜明け前 |

②次のア～カから、ノーベル文学賞を受賞した作家を二人選んで、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|------|
| ア | 夏目漱石 | イ | 大江健三郎 | ウ | 森鷗外 |
| エ | 芥川龍之介 | オ | 直木三十五 | カ | 川端康成 |

③次のア～カから、『宇治拾遺物語』を素材とした芥川龍之介の作品を一つ選んで、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|----|---|------|---|--------|
| ア | 河童 | イ | 枯野抄 | ウ | あばばば |
| エ | 鼻 | オ | トロッコ | カ | 或阿呆の一生 |

Ⅲ 現代文 一般選抜【筆記試験型】 D日程(3月12日実施)

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

私たちの心は、さながら振り子のように前向きな気持ち(プラス)と、後ろ向きな気持ち(マイナス)を絶えず行ったり来たりしています。気持ちがプラスの状態のときは何をやってもうまくいくように感じますが、反対にマイナスのときは何もかもうまくいかないように感じてしまいます。

この心の振り子の状態は、私たちの思考と体調に大きな影響をおよぼすことがわかっています。

「このピンチで失敗は許されない……」

「ミスをしてしまった。上司にどう伝えよう……」

「大事な面接の前に、緊張している。どうしよう……」

(1) ネガティブな感情に襲われているときには、自分に過度なプレッシャーがかかってしまい、自分本来のパフォーマンスが特に発揮できなくなってしまう。

しかし、一見、悪者のように思えるネガティブな感情も、私たちが生きていくうえで必要なものなのです。

人間はこれまで、命の危険と隣り合わせだった時代を長く過ごしています。^(ア)ノウコウ時代、いやそれ以前の^(イ)シユリヨウ時代の頃から、私たちの遠い祖先は、生きながらえるために身の回りに危険なものがないか、常に先を見越して安全を確保することが求められていました。当時の人間にとって、(1)な感情や感覚は危険から身を守り、生きていくために不可欠なものだったのです。

だから、不安を感じたりストレスを過敏に感じたりするのは、人間として当たり前のことであり、それ自体を否定したり悲観する必要はありません。いわば私たちの本能のようなものですから。

話を戻すと、大事なものは、心の振り子は常にプラスとマイナスを行き来するものであり、それが私たちのパフォーマンスに影響をおよぼすというメカニズムを理解すること。そのうえで、大事な場面で感情をプラスの状態にすることです。

自分の感情を客観的に把握し、セルフコントロールする方法を身につけることで、「あ、今不安を感じているな」「緊張しているな」という場面でも心の状態をポジティブに変えられるのです。

ではそもそも、心の状態というのは、自分の力でコントロールできるものなのでしょうか。

答えは「できる」です。

そして、そのカギを握るのが、「言葉・動作(態度)・表情」の3つの要素です。

私たちが普段何気なく発している言葉や動作・表情は、無意識のうちに目や耳がキャッチし、脳に届けられ、心の状態に影響を与えます。

(②)、イヤなことが起きたり、思いどおりにならないことがあったりすると、無意識のうちに「だめだ!」「なんでだよ!」などとマイナスの言葉をつい口にしてしまう、ふてくされた態度や浮かない表情が出てしまうことがあると思います。このような言動や表情は、そのまま自分の目や耳から脳に伝わり、心の状態に悪影響をおよぼします。その結果、心の振り子がマイナス方向に振れて、パフォーマンスを発揮しにくい状態になってしまうのです。

(③)、なぜマイナスの言葉・動作・表情が、心の状態に悪影響を与えてしまうのでしょうか。それは以下のような仕組みです。私たちの脳には、過去の経験・体験を、そのときの感情とセットで無意識のうちに記憶するという特徴があります。「失敗した」体験と、「恥ずかしかった」「イヤな思いをした」という感情がセットになって、記憶データとして脳の中に「チクセキ」されていくのです。そして、マイナスの言葉を口にする、「あのしんどかったときにいつか発してしまった言葉だ」という脳の記憶データに結びついてしまい、そのときの状況や感情が鮮明に呼び起こされてしまいます。そのため、マイナスの感情に苛まれてしまうというわけです。

それからもう一つ、脳には「プラスよりマイナスのことを優先的に記憶する」という特徴もあります。そもそも人間はネガティブになりやすい傾向があります。「私ってどうしても物事をマイナスに考えてしまう癖がある」と嘆く人がいますが、人間である以上それは当たり前のこと。私たちは、誰もが普通にマイナス思考になってしまうような脳を持ち合わせているのです。

さらに、私たちの脳には「A」という特徴もあります。つまり、耳に入った言葉に対して、それを発したのが自分なのか、目の前の人なのか、それとも見ず知らずの第三者なのかを、脳は関知せず一つの音声データとして処理をします。

たとえば、近くにいる自分とは何の関わりもない赤の他人が、マイナスの言葉を発している(怒鳴っている、悪口を浴びせているなど)状況に出くわし、その言葉をたまたま耳にしたとします。そのとき、あなた自身はその人とは無関係であるにもかかわらず、あなたの脳は自分に向けて発せられた言葉と錯覚して受け取ってしまい、ネガティブな感情になってしまうのです。

逆に、あなたが会社のある部署のリーダーだとして、自分の部下に「なんでできないんだ!」と叱責したとしましょう。すると、その「なんでできないんだ!」という叱責の言葉は、近くに居合わせたほかのメンバーの耳にも入ります。すると、その言葉を耳にしたメンバー全員の脳に、過去に自分がその言葉を言われたときのマイナスの記憶と感情が呼び起こされ、結果としてチーム全体にネガティブな空気がまん延してしまいます。

それだけでなく、「なんでできないんだ！」という言葉を発したあなた自身も、自分の耳でその言葉を聞くことで、さらにネガティブな感情を高めてしまうのです。

このように、私たちは自分が口にした、あるいは周囲から聞こえるネガティブな言葉によって、知らず知らずのうちに、心の振りがマイナスに振れた状態になってしまうわけです。

では、心の振りをプラスに振るにはどうすればよいのでしょうか？

答えは簡単で「B」のことにする、つまりポジティブな言葉で、脳内にプラスのイメージや感情を呼び起こせばよいのです。

「あ、今、気分が今ひとつ上がらないな」と思ったら、口先だけでもよいのでプラスの言葉を口にしてみる。普段から、事態や状況を問わず、このようなプラスの出力を心がけると、脳が勝手に肯定的な錯覚を起こし、心を（Ⅱ）な状態にセルフコントロールすることができるようになります。

このような心のセルフコントロール術として、私がメンタルサポートをする方々に、最初に実践してもらおう「プラスの出力」のワークがあります。

2人1組で、ジャンケンをします。勝った場合はもちろんですが、負けても、あいこでも、腕を突き上げながら大きな声で「よっしゃー！」と叫んで喜ぶのです。「負けたのに『よっしゃー！』はおかしいのでは？」と思うでしょう。でも、いいのです。

この「プラスの出力」での重要なポイントは、たとえ論理的につじつまが合っていないにもかかわらずかまわないということです。言葉そのものの意味はさておき、大きな声でプラスの状況のときに発する言葉を口にし、脳に届けることでポジティブな感情を呼び起こすことができるのです。

（吉岡眞司『強いチームはなぜ「明るい」のか』幻冬舎から 一部改変）

□ 文章中の(ア)・(イ)・(ウ)のカタカナを漢字に直しなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

ア ノ|ウ|コ|ウ イ シ|ユ|リ|ヨ|ウ ウ チ|ク|セ|キ

□ 文章中の①・②・③に入る最も適切な言葉を、それぞれについて、次から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア 一方で イ たとえば ウ あるいは エ なお
オ それでは カ かつ キ このような ク ならびに

□ 文章中の(Ⅰ)(Ⅱ)に入る最も適切な言葉を、文章中の他の部分から探して、それぞれカタカナ五文字で答えなさい。

□ 文章中の A に入る最も適切な言葉を次から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 心の振り子を誤って動かしてしまふ
イ 言葉を『誰が言ったのか』は関知しない
ウ 他人が言った言葉を全面的に信じる
エ 叱責している言葉だけを『真実』と受け取る
オ 『言葉・動作・表情』をいつも優先する

□ 文章中の B に入る最も適切な言葉を、文章中の他の部分から探して、漢字一文字で答えなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

問題は以上です。